

やすらぎ

平成 21 年 2 月 1 日
〔第 118 号〕

発行 御所モラロジー事務所 発行責任者 吉田 実
〒639-2241 奈良県御所市茅原118-1 TEL/FAX 0745-64-3030 E.mail gose-mc@m5.kcn.ne.jp

2009 年「新年研究会」事務所で開催

1 月 10 日（土）当事務所において新年研究会が開催されました。

前日からの寒波で金剛、葛城の雪景色を眺めながらの事務所集合です。富士俊隆研修委員長の司会で開会され、吉田代表世話人が新年の挨拶をしました。

「宣誓文」を唱和するとき細川参与さんが「今



年から起立して唱和しましょう」と提言され起立しての唱和から始まりました。

吉田代表からは『やすらぎ新年号』に

お父さんから教えて頂いた事を掲載させて頂きました。今年は本部主催で『維持員勉強会』があります、事務所維持員の皆さんは勉強会への参加をよろしく願います。また今年は報恩に心掛けて頂きたい」と話がありました。

次に細川参与さんからの講話がありました。

維持員に加入して45年目に入りましたが、最初は維持員とは何かも分からず先輩からも教えて貰えませんでした。「聖人正統の教学を持って現代の世界の人心を根本的に改善せずば、全世界の人類を真に永遠の安心、平和、幸福に導くを得ず。モラロジーの天より受けたる大使命はこの大任を果たすにあり。予が40年来の苦心も、予を助けて努力しつつある篤志家（とくしか）の目的も、みな全くここにあり」とモラロジー教育の根本目的と維持員の使命が明示されています（維

持員ハンドブック P14）また「所報新年号」廣池幹堂理事長新年の挨拶から、「現在の日本では政治、経済、社会の各分野でさまざまな



問題が起きていますが、いちばんの問題は、よき国民性の第一である誠実さがなくなりつつあることです。誠実さを欠いたものは、人も企業も国も、信頼され尊敬されることはなく、栄えることもありません。モラロジー団体は『日本の良心』『日本の魂』として、『誠の心』の大切さを訴え続けていきたいと思えます」と読んでいただき、その後最近の体験の中で、あることで自分の気持ちがイライラしていたが、モラロジー心のカレンダーで「慈悲寛大自己反省」の文字と説明文を読むことにより気持ちが楽になり、問題なく事が進んだとお話いただきました。

2 部は女性クラブが苦心し、材料集めをした、



すき焼パーティーになりました。2、3 常連の顔が見えなく、出席者も 20 人余りと少しさびしいですが、肉は上等、お酒はビール、焼酎、地酒とたっぷり。8 時をすぎても、一部お酒の勢いが止まらぬテーブルもあり賑やか、混乱の会になりました。

女性軍の後片付けの大変さを案じながら散会となりました。ありがとうございました。今年もよろしく。

上田/米田

ちょこっと成長した、ユニセフ募金の巻！？

年の瀬もおしつまった 12 月 21 日、日曜日、第 30 回ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金活動に参加させて頂きました。

御所事務所青年クラブでは、もう 10 年ぐらい募金活動を行い毎年暮れの恒例行事となってきました。今年は、葛城事務所 2 名、桜井事務所 6 名、佐藤薬品 NMC1 名と御所事務所青年クラブ 9 名の計 18 名で募金活動を行いました。

午前 10 時半に近鉄橿原神宮前駅西出口に集合し、西出口と東出口にわかれて募金活動を開始しました。初参加の方も多く、最初はなかなか声を出さず出来ませんでした。経験者が積極的に大きな声を出すことにより、初めて



の方も徐々に大きな声を出せるようになりました。こんな光景を見ていたら、私は心の中で優しい気持ちが溢れてくるような感じがし、自然とニヤケテしまいました。また、募金活動をしていると小さなお子様や通りすがりの方が、切符を買ったお釣りをわざわざ募金しに戻って来てくれる姿を見ることができ、何とも表現できないあたたかな気持ちに包まれました。今回の募金では、以前には気づかなかった些細なことにでも感謝の気持ちが自然と湧いてくるようになりました。

約 1 時間半の募金活動を終え、メンバーも各自財布からいくらかのお金を募金をしました。あるメンバーが 5000 円札を募金箱に入れようとしていたので、「間違っているよ！！」と声をかけると「今年は 5000 円募金する」と、躊躇せず募金箱に入れました。私は「たいした奴なあ」と感心し、私も負けないで 5000 円札を募金できるように来年に向けて、小銭を貯めていきたいなあと思いました。

最後に、みんなで駅をバックに記念写真を撮り、駅員の方に終了の報告とお礼を申し上げ無事に終了する事が出来ました。その後、みんなで昼食を共にし解散しました。

余談ではありますが、今後それ

ぞれの事務所でユニセフ募金活動を行い、年末には毎週どこかで募金活動ができるかも?? という夢の様な話も飛び出して来ております。

今年の募金でも御所事務所の先輩から多くのご協力を頂いたお陰で、25318 円をユニセフに送金することが出来ました。

募金活動にご協力してくださった方々、青年クラブのメンバーに感謝の意を申し上げます。ありがとうございました。

青年クラブ 細川 成樹

正月のお花を習う

2008年も残す所わずかとなった12月24日、夜8時から例年通り事務所にて、お正月のお花を玉巻小夜甫(未生流)先生より教授いただきました。

参加者は6名。今回は生涯学習セミナーに初め



て参加下さった方が孫さんといっしょにお越し下さいました。私は若松の御流儀をお稽古致しました。長年教わっていても年1回~2回の事となかなか思う様には活けられず、不完全な若松が、先生のマジックハンドにかかると忽ちバランスよく形よくまとめられてゆきます。いつもながら驚き、感心し、そして感謝の極みです。他の5名

もそれぞれオモト、若松とお芽出たいお花が入り一足先に床の間や玄関にお正月を迎える用意が出来ホット一息。お茶を囲んでクリスマスイブの一時を楽しく過しました。

1年に2回、お盆とお正月のお花を教えていただいている華道教室ですが、日本人の生活習慣の節目の大切な時を迎える為の心の準備も、お花を通じて感じさせて頂けます。

どうか皆様もいっしょにご参加下さい。お待ちしております。

華道教室 田村 佳世

トイレがリフォーム

昨年、提案があった念願の事務所トイレのリフォームが完了しました。従来のトイレはすべて和式。昨今のトイレ事情とは少し異なっていて、洋式便器の希望が出ていました。費用を余り掛けないうで、希望を満たすと言う事で、物入れをつぶし1ヶ所を洋式に改造しました。これで、足腰に負担のかけられない方にも喜んで使っていただけるようになりました。

この実現のため山原設備工業さんに、年末年始という難しい時期に、並々ならぬお世話をかけたことを付記します。



均とマサヨの独逸見聞録 その9

ハンブルグ地方には高い山がありません。車以外に自転車が交通の手段としてよく使われています。



前回の見聞録で列車への車の積み込みを紹介しましたが、自転車は電車やバスへの積み込みは当たり前です。特にバスは自転車や乳母車、車いすなどが積みやすいようにバス停に着くと車体が低くなります。当然近くのお客さん同士で乗のを手伝います。『当たり前のように』町中の歩道は広くて、自転車道路は歩道の真ん中にあります(歩道写真の真ん中の色違いの所)。日本のお母様がお子さんを前、後ろ、背中と自転車に乗せていますが、ここではこんな自転車があります。

子供1人用、2人用、3人用。みんな後ろに赤い旗がついています。小さい子供は写真のようなペタルの無い自転車にまたがって足で漕りながら遊んでいます。



運営委員会報告

平成21年1月22日(木)定刻より運営委員会が開催され、13名が出席しました。代表世話人は「今年最初の運営委員会です。心新たに今年の丑年にならって、粘り強くがんばっていきましょう。大寒が過ぎ身体に気をつけましょう。トイレのリフォームが山原さんの協力で完成しました。ありがとうございました」と挨拶しました。

報告事項

1. 女性クラブ(山原女性クラブ長)
1月28日(水)9:30から『女性クラブ新年のつどい』を開催します。会場は、かもきみの湯内多目的ホール、参加は70名予定しています。講師は植田和子氏(東大阪(財)モラロジー研究所 社会教育講師)。参加者の送迎、会場設営に皆様のご協力をよろしくお願い致します。
2. 講座受講(富士受講推進担当)
生涯学習セミナーの事後開発で中日本生涯学習センターの基礎講座(2月19日(木)~22日(日))を集団受講する事になっています。現在のところ8名参加申し込みがあります。まだ猶予がありますので、奮って申し込み下さい。
3. 青年クラブ(細川成樹氏)
12月21日(日)ユニセフ募金を開催。参加者は9名、他事務所から9名参加。25,318円をユニセフへ送金しました。1月19日(月)新年会を開催。参加者は9名。

審議事項

1. 平成21年度行事計画について(倉本副代表世話人)
「平成21年度行事計画」と「平成21年度教育活動目標設定表」の作成を全員で行なう。追加があれば至急に代表世話人まで届けること。2月25日までに近畿ブロックへ提出。
2. 大阪講堂の日直について
2月26日(木)に大阪講堂の日直当番です。女性クラブから2名参加予定。

その他

- ・生涯学習講演会(フォローアップセミナー)を3月開催予定。(山下実行委員長)
- ・駐車場の外灯(投光器他)の点滅を配電盤のブレーカーで行なう。会場当番など最初に出てきた者が点灯し、最後に退出する者が消灯する。

編集後記

気温の低い日が続きます。冬の我が家の最低気温は、一月二十五日の零下2.7度。久しぶりにあちらこちらで氷を見ました。冬の寒いのも嫌いではありませんが、やはり春は待ち遠しい嬉しい事があります。たので今月号はカラープリントし経費は協力費として拠出します。とく